

就業規則の

重要性学ぶ

金沢水曜会

石川県内の企業経営者らでつくる奉仕団体「金沢水曜会」の労使トラブルセミナーは13日、金沢市の金沢ニューグランドホテルで開かれ、会員約40人が就業規則の重要性について学んだ。

講演した社会保険労務士の三井敏彦氏は不払いの残業代をめぐる紛争が増えていると指摘し、「社員が自己判断で残業をすると、会社側は把握できない。上司への報告の義務化など詳細な規則を設けるべきだ」と話した。